平成 21 年 12 月 16 日

「PC 構造物の復元設計手法の確立」委員会

第四回会議議事録（案）

日時：2009 年 12 月 16 日（水）15:00－17:15

場所：PC 技術協会 会議室

出席者：魚本，加藤，牧，三矢，小原，大木，山崎，左東，橋本，堀内，土田，水野，
手塚，大塚，佐藤，勝木，篠原，笠井，中崎（順不同，敬称略）

配付資料：

4-0：第三回会議議事次第

4-1：第二回会議議事録（案）

4-2：web 掲載資料

4-3：報告会について

4-4：報告書のフォーマット

4-5：WG1 ドラフト案

4-6：WG2 ドラフト案

4-7：ドラフト案

議題：

1. 議事録の承認

第三回議事録案が紹介され，以下の点を修正し，議事録として承認された．

ケーススティ→ケーススタディ

2. Web 掲載資料の承認

資料 4-2 を用いて web 掲載資料の説明がなされた．WG の副主査，誤字，委員名等の修正が指摘されたため，修正した資料をメールで再度確認し，最終的な web 掲載資料とすることで承認された．

3. WG の進捗報告

3.1WG1 の報告

資料 4-5 を用いて，WG1 のドラフト案の説明がなされた．主な討議は以下の通りである．

・WG3 として対応すべき項目は，形状，鋼材（本数，配置），コンクリート強度，竣工

年代である.

- ・資料集はデジタル版として CD/DVD 等に対応する.

3.2 WG2 の報告

資料 4-6 を用いて, WG2 のドラフト案の説明がなされた. 主な討議は以下の通りである.

- ・適用の範囲において, 施工方法の影響が大きいことに関して, 検討外の工法についても概略触れる.
- ・WG3 として対応すべき項目は, 形状寸法, 鋼材の配置である.

3.3 WG3 の報告

資料 4-7 を用いて WG3 のドラフト案の説明がなされた. 主な討議は以下の通りである.

- ・対象とする検討断面に対して具体的にとりまとめを行いたいため, WG1, WG2 で検討している断面図を WG3 に提供する.
- ・非破壊計測に関して, メーカー名や機器名は, 例として具体名を掲載する方針とする.

3.4 その他報告書に関する決定事項

4. 報告書に関して

- ・今年度中に報告書を完成させるスケジュールを進める.
- ・WG1 と WG2 の共通する部分を含めた全体の構成は, 本日のドラフト案をベースとして, たたき台を加藤幹事が作成し, メールで審議する.
- ・報告書の初稿締め切り, クロスチェックの分担等の詳細に関しては, 加藤幹事が後日連絡する.

5. 報告会について

- ・会場は「渋谷の薬学会館」を第一候補とする
- ・日程: 6/16 (第一候補), 6/23 (第二候補), 6/17 (第三候補), 6/24 (第四候補)
- ・半日の報告会とし, 特別講演を企画する
- ・特別講演の講師候補は, 国総研の西川氏, 魚本委員長とする.
- ・参加費: 会員 8,000 円, 非会員 10,000 円, 学生 4,000 円を基本に考える

6. その他

今後は, 必要に応じて主査・幹事会を開催することで対応する

以上